

越中国における古代の祭祀

堀沢 祐一（富山市教育委員会埋蔵文化財センター）

1. 越中国の律令祭祀具出土遺跡と祭祀具の内容（図1・表1）

越中国では18遺跡から、人面墨書き土器や木製祭祀具が出土している。古代越中国には4郡が置かれ、各郡での様相は図1・表1のとおりである。

2. 越中国の律令祭祀具出土遺跡と官衙遺跡の関係（図1）（堀沢2003）

（1）祭祀具のセット関係 人面墨書き土器と斎串や人形などの木製祭祀具が共伴する祭祀パターンA型と木製祭祀具のみが出土する祭祀パターンB型に分けられる。さらに、B型は斎串のみ出土のB(a)型と斎串に他の木製祭祀具伴うB(b)型に分けることができる。

（2）祭祀パターンA型と官衙遺跡の関係 祭祀パターンA型は、豊田大塚・中吉原遺跡（旧称：豊田大塚遺跡。平成15年7月名称変更した）、南太閤山Ⅰ遺跡、北高木遺跡（北高木遺跡と荒畠遺跡は、隣接するため1遺跡とする。）埴生南遺跡の4遺跡がある。現在のところ各郡で1ヶ所ずつ所在している。これら付近には、国府や郡家と比定される遺跡があり、以下のようになる。

越中国府 越中国府と北高木遺跡（越中国府の祭祀場）

新川郡 米田大覚遺跡（新川郡家）と豊田大塚・中吉原遺跡（新川郡家の祭祀場）

婦負郡 婦負郡家は富山市西二俣に比定される。候補の遺跡は黒河尺目遺跡になる（藤田2002）。
南太閤山Ⅰ遺跡（婦負郡家の祭祀場）

射水郡 射水郡家は越中国府付近に比定される。北高木遺跡は射水郡家の祭祀場でもあるのか。

礪波郡 道林寺遺跡（礪波郡家）と埴生南遺跡（礪波郡家の祭祀場）

国府や郡家に関連する祭祀場では、人面墨書き土器と木製祭祀具のセットで使用すると考えられる。

（3）祭祀パターンB型と官衙遺跡の関係 祭祀パターンB型は、13遺跡である。郡家・郷・駅家・津（河川交通）などに比定される遺跡が多い。米田大覚遺跡は新川郡家、水橋荒町・辻ヶ堂遺跡は水橋駅家、じょうべのま遺跡は佐味駅家関連、麻生谷遺跡は川人駅家、辻遺跡は郷関連、東木津遺跡は布師郷関連、桜町遺跡は長岡郷関連、中保B遺跡は津（河川交通）とされる。郡家・郷・駅家・津（河川交通）などでは、木製祭祀具のみを使用すると考えられる。

その他の遺跡も出土遺物をみると官衙に関連した遺跡と考えられる。遺跡の内容については、今後の課題としたい。

斎串のみ出土のB(a)型は、井戸や掘立柱建物の柱穴などにみられ、井戸や建物に伴う祭祀が想定される。

3. 越中国の祭祀具の問題点

（1）下部が尖るタイプ（一本足）の人形について 下部が尖る人形・一本足の人形は、越中国以外では、兵庫県中町安坂・城の堀遺跡（播磨国）、同県丹波市市辺遺跡（丹波国）、大阪府寝屋川市讚良郡条理遺跡（河内国）、静岡県静岡市神谷原・元宮川遺跡（駿河国）で出土している。

現在のところ他国では1遺跡のみの出土であるが、越中国では、豊田大塚・中吉原遺跡など3遺跡で出土がみられ、「一本足タイプ」の人形は越中国の特徴とされるのではないだろうか。9世紀後半～10世紀初頭が主体と考えられる。このタイプの人形の時期や使用方法などについては、今後の課題である。

(2) 顔がない人面墨書き土器について 人面墨書き土器が出土している南太閤山Ⅰ遺跡と北高木遺跡では、人面墨書き土器とともに、おそらく顔が描かれない人面墨書き土器が共伴している。

南太閤山Ⅰ遺跡では、都城で人面墨書き土器に使用される祭祀用土器（壺B）を模倣したと考えられる土器が1点出土している（図3-3）。ただし、土器の外面はヘラケズリしており、調整方法は都城とは違い、在地の方法で行われる。岸本雅敏氏は「人面用土器模倣形態」の在地土器で、人面墨書き土器とともに祓えの祭祀に使用したものとみてよいとしている（岸本1985）。

北高木遺跡では、人面墨書き土器に使用される土器とほぼ同じ器形で、顔がない土器がある（図3-4）。また、花ノ木C遺跡では、人面墨書き土器は出土していないが、人形と斎串とともにほぼ完形品の土師器の長胴甕と小型甕、須恵器の杯が出土している。これらについては同時に溝に投げ込まれたと考えられる（富山市教育委員会2004）。

このように、「顔のある人面墨書き土器」と「顔のない人面墨書き土器」が同時に祭祀に使われたと考えられ、都城で行われたとされる「顔のない人面墨書き土器」による祭祀行為は、越中国でも行われた可能性が高いと考えられる。

他の遺跡で、木製祭祀具のみで人面墨書き土器が伴わない遺跡でも、完形品の土師器甕類などは「顔のない人面墨書き土器」と考えられるのではないか。

(3) 赤田Ⅰ遺跡の祭祀について 本遺跡では、溝から多種の木製祭祀具とともに、土師器の椀と皿、黒色土器、綠釉陶器などが出土している。完形品に近い土師器の椀は約300点ある。椀は口径と器高の関係より、2つのグループに分けられる。Ⅰ類が口径12~14cm、器高4~6cm、Ⅱ類が口径15~18cm、器高5~6cmで、Ⅰ類が圧倒的に多い。溝から出土した土師器の約86%は椀が占める。さらに、土師器には高台のある皿と高台のない皿がある。土師器の甕類は1~2点で、須恵器はほぼ完形品の長頸壺（2点）、頸のない双耳瓶（1点）などがある。

また、綠釉陶器は12点あり、報告書では、口縁部を意図的に打ち欠いて、この部分に燈芯を置いて、祭祀儀礼における灯火具として用いられ、祭祀が執り行われた後、木製品や他の土器と共に溝に廃棄したとしている（小杉町教育委員会2003）。

大量の土師器の椀や皿などは木製祭祀具と共に祭祀に使用された後、投げ込まれたのか、投げ込むこと自体が祭祀行為なのか、祭祀の内容や祭祀の主体者などについては、今後の課題としたい。

注 脱稿後、高岡市石名瀬A遺跡から人面墨書き土器、斎串、人形などが出土していることを知った。それについては、本報告の図1・表1には記載していない。

平成19（2007）年10月28日、高岡市下佐野遺跡の現地説明会で人面墨書き土器の破片が展示されていた。現在のところ遺跡の詳細が不明なので、この分類には含めていない。注 で書いたように石名瀬A遺跡についても同様である。石名瀬A遺跡の人面墨書き土器は、平成20（2008）年3月8~16日に開催された第8回高岡市埋蔵文化財展「万葉の時代」に展示されていた。

また、高岡市下佐野遺跡・石名瀬A遺跡を含めた越中国の祭祀パターンについては、若干の再考を行った。この点については、2008年4月発行の『信濃』第60号第4号に「古代越中国の律令祭祀について」として報告した。

ただし、下佐野遺跡と石名瀬A遺跡は現在整理中であり、あくまでも筆者が遺物を実見させていただいた感想を報告している。

下佐野遺跡と石名瀬A遺跡は隣接しており、注 と で書いたように人面墨書き土器や人形などが出土している。両遺跡の年代や他の出土遺物などについて検証する必要はあるが、これらを一的な遺跡とすると、射水郡家に関連する祭祀場として考えられるのではないか。

発表時に、中村弘氏の資料により市辺遺跡で一本足の人形が出土していることを知った。また、他の2遺跡については、発表後に確認した。

<主な参考文献>

- 大島町教育委員会 1995『富山県大島町北高木遺跡発掘調査報告書』
岸本雅敏 1985「IVまとめ 3人面墨書き土器について」『七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査報告概要(3) 南太閤山Ⅰ遺跡』
高岡市教育委員会 2001『石塚遺跡・東木津遺跡調査報告』
富山県小杉町教育委員会 2003『赤田Ⅰ遺跡発掘調査報告』
富山県教育委員会 1985『七美・太閤山・高岡線内遺跡群発掘調査報告概要(3) 南太閤山Ⅰ遺跡』
富山市教育委員会 1998『富山市豊田大塚遺跡発掘調査概要』
富山市教育委員会埋蔵文化財センター 2004『富山市の遺跡物語 所報No.5』
藤田富士夫 2002「古代婦負郡の「郷」擬定と柄谷南遺跡の位置」『柄谷南遺跡発掘調査報告書』富山市教育委員会
堀沢祐一 2003「越中国の律令祭祀具と官衙遺跡」『統文化財学論集』

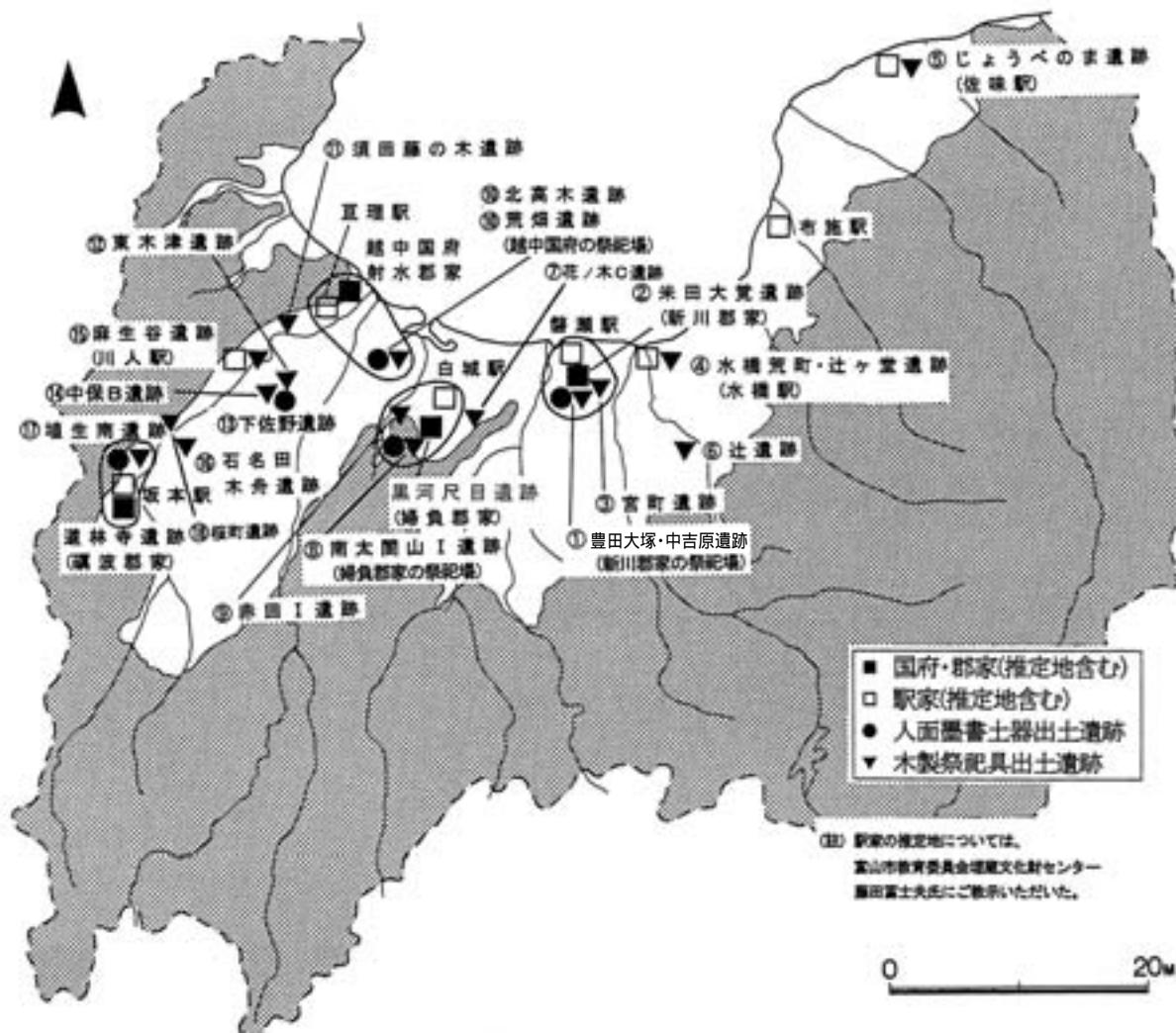


図1 越中国の律令祭祀具出土遺跡と官衙遺跡 筆者作成

No.	遺跡名	所在城	所在地	時期	遺跡の種類	人面	車輪	人面	舟形	馬形	鳥形	刀形	輪形	その他	祭祀具出土遺跡	祭祀具以外の遺物など
1	豊田大塚・新川郡	富山市	中古原	9C後半	祭祀	3	1	4							鏡	墨書き土器
2	米田大寛	新川郡	富山市	8C末～10C初め	新川郡家開道	29						1			戸戸	祭祀陶器・瓦ぬれ陶器・墨書き土器・石器
3	宮町	新川郡	富山市	9C～10C	祭祀	3									戸戸	墨書き土器・石器
4	水橋荒町・辻ヶ堂	新川郡	富山市	8C初め～9C前半	水橋駅家開道	2									戸戸	墨書き土器・私用罐・石器・千足
5	じょうべのま	新川郡	立山町	8C末～10C初め	立山駅家開道	1	1	1							小ビット?	祭祀陶器・瓦ぬれ陶器・墨書き土器・馬字鏡
6	辻	新川郡	立山町	8C前半	都開道	2										自然流路
7	左ノ木	越後郡	富山市	8C後半	祭祀・祭祀	1	2								鏡	墨書き土器
8	南太閤山I	越後郡	村木市	8C	祭祀・祭祀	2	55								田	祭祀木製品(4点)
9	赤坂I	越後郡	村木市	9C後半～10C初め	祭祀・祭祀	23	5	4	3	17	4				鏡	祭祀陶器・墨書き土器・鐵鏡・刀身・刀頭
10	北高木	村木市	村木市	8C後半～10C初め	祭祀・狂窓	5	288	29	26	4	1	3		琴形	墨書き土器・私用罐・瓦・堅木・精錐・千足・墨書き木製	
11	東田藤の木	村木市	高岡市	8C中頃～10C	官衙開道	4									鏡	墨書き土器・円筒鏡・瓦・瓦唐
12	東木津	村木市	高岡市	8C後半～9C前半	村木津開道	63	20	1	3	1	4			琴形	祭祀陶器・墨書き土器・私用罐・足金貝・精錐「丸鏡」・木製	
13	下佐野	村木市	高岡市			あら									鏡	墨書き土器
14	中保日	朝日郡	高岡市	T C中頃～11C後半	官衙開道	14	1	1	17					武昌形	水路・井戸	
15	麻生谷	朝日郡	高岡市	8C後半～9C	川人駅家開道	8									鏡	祭祀陶器・瓦ぬれ陶器・墨書き土器・木製
16	石名山木舟	朝日郡	小矢部市	7C後半～9C	祭祀	1								柱穴	祭祀陶器・瓦ぬれ陶器・墨書き土器・木製	
17	雄生瀬	朝日郡	小矢部市	7C末～8C前半	祭祀・祭祀	1	あら								鏡	土器・土鏡
18	坂町	朝日郡	小矢部市	7C～9C	長岡駅家開道	1									鏡	墨書き土器・円筒鏡・荷金貝・土器・木製

表1 越中国の律令祭祀具出土遺跡・内容一覧 各遺跡の発掘調査報告書などを参考にして、筆者作成
「人面」は人面墨書き土器を示す。

